

富山市高齢者総合福祉プランの策定に向けて (高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画) (令和3年度～令和5年度)



いつまでも健康で自分らしく、
生きがいや安心感、幸福感を感じながら暮らしを営み、
尊厳をもって人生の最期を迎えられる社会の実現のため
一緒に考えてください

富山市

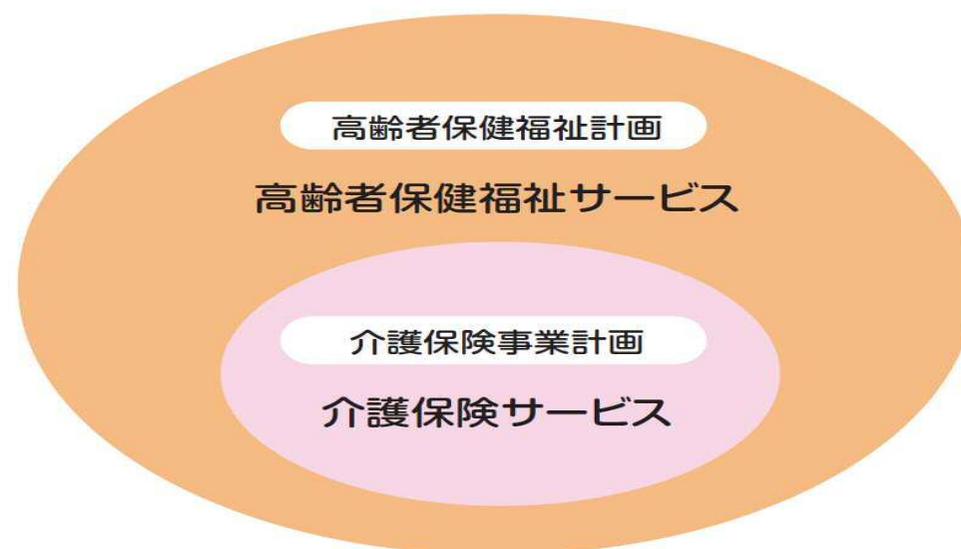
- 1 高齢者総合福祉プランとは**
- 2 富山市の施策の取組について**
- 3 高齢者を取り巻く現状と今後の見込み**
- 4 次期高齢者総合福祉プランの策定について**



1 高齢者総合福祉プランとは

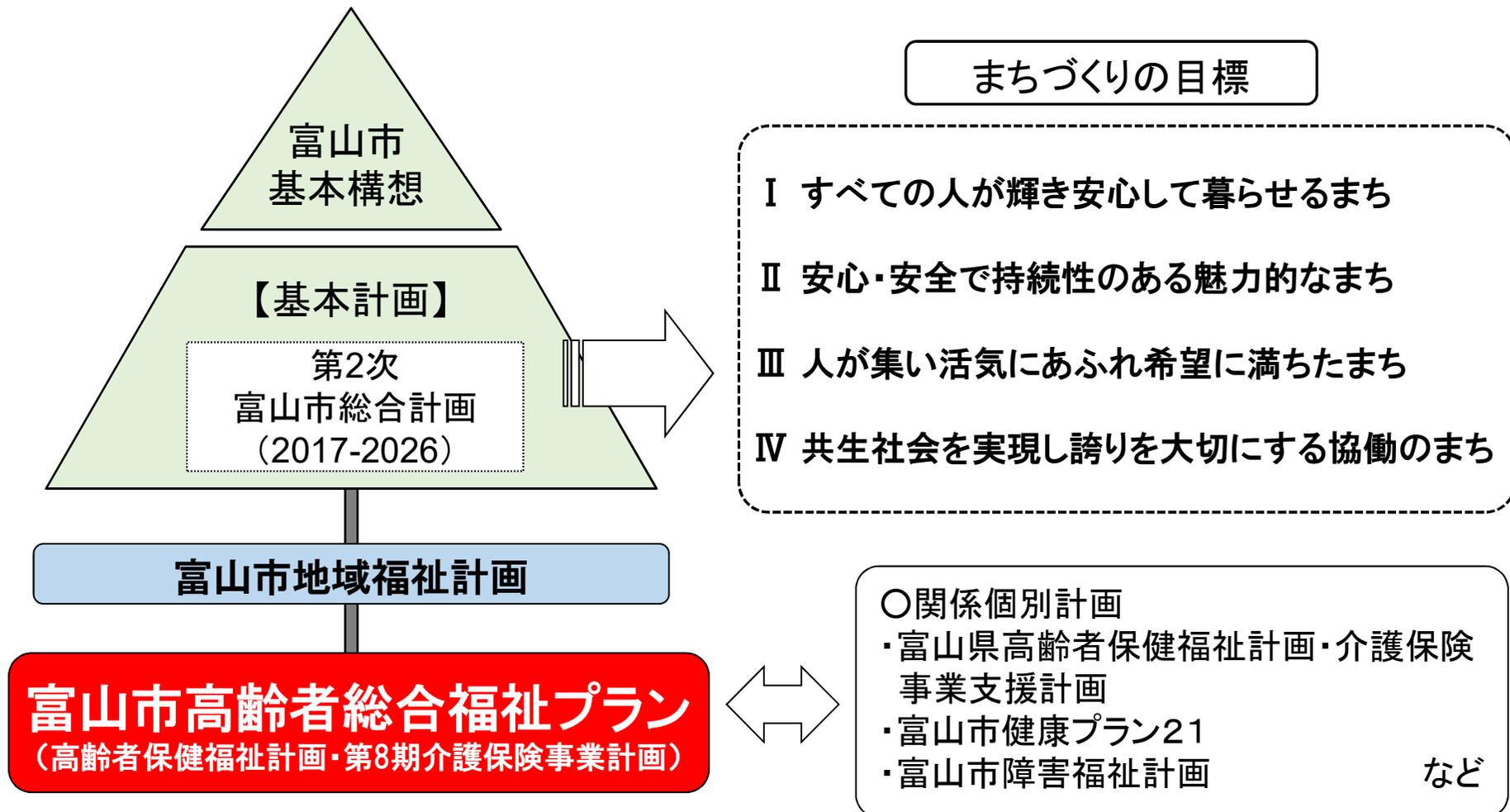
① 高齢者総合福祉プランの趣旨

高齢者の保健福祉に係る本市の目指すべき目標を定め、
具体的な施策を展開するための計画として、
老人福祉法に基づく老人福祉計画と
介護保険法に基づく介護保険事業計画を一体のものとした
「高齢者総合福祉プラン」を策定しています。



② 高齢者総合福祉プランの位置付け

本計画は、「第2次富山市総合計画」との整合を保ち、高齢者の保健福祉施策を具体化するため策定するものです。



③ 現行プランにおける基本理念等について

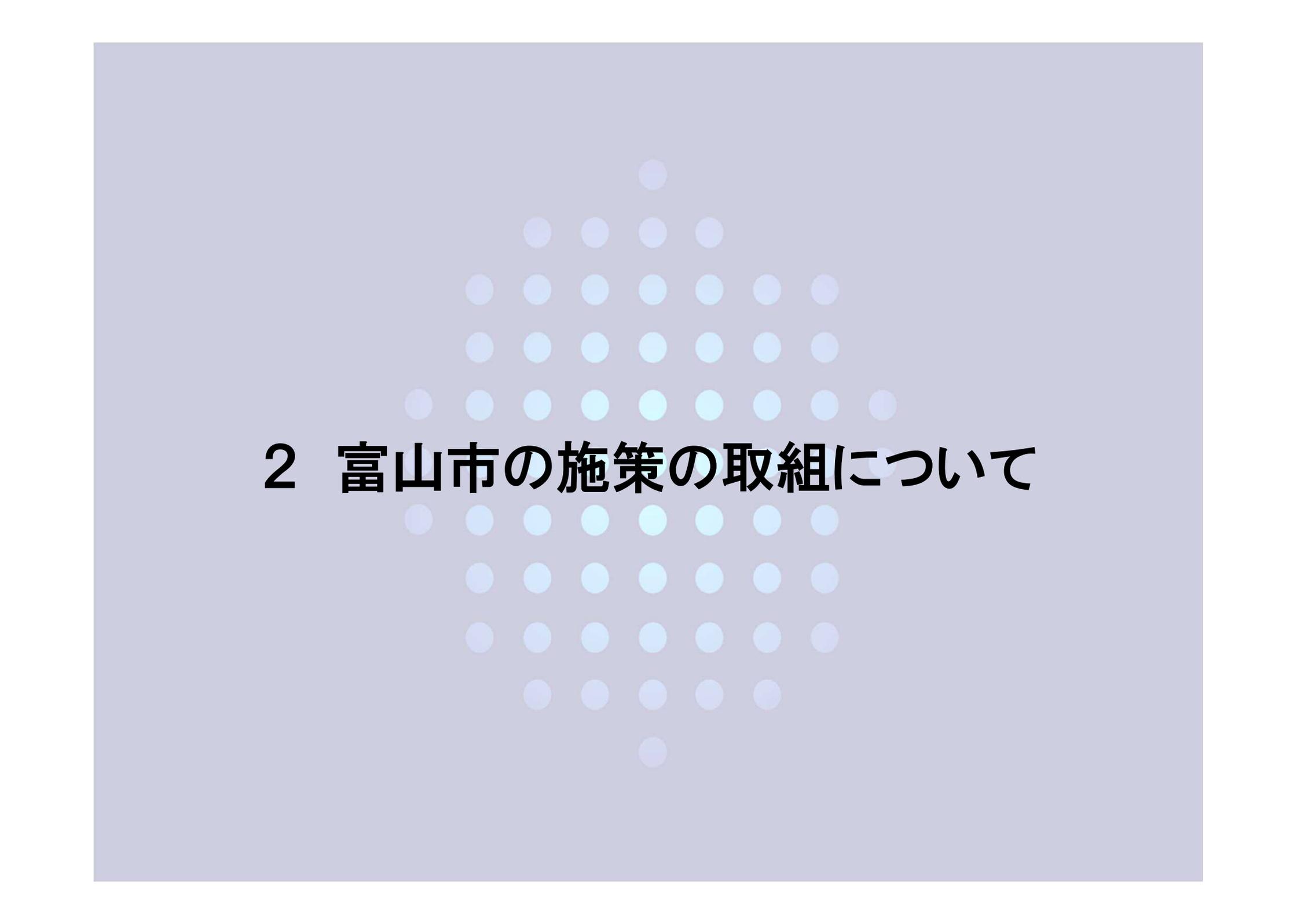
【基本理念】「みんなでつくる、ぬくもりのある福祉のまち」

5つの施策の柱

- I 健康づくりと介護予防の推進
- II 生きがいづくりと社会参加の推進
- III 地域における自立した日常生活を支援する体制の整備
- IV コンパクトで潤いと安らぎのある魅力的なまちづくり
- V 介護保険事業における保険者機能の強化

重点テーマ

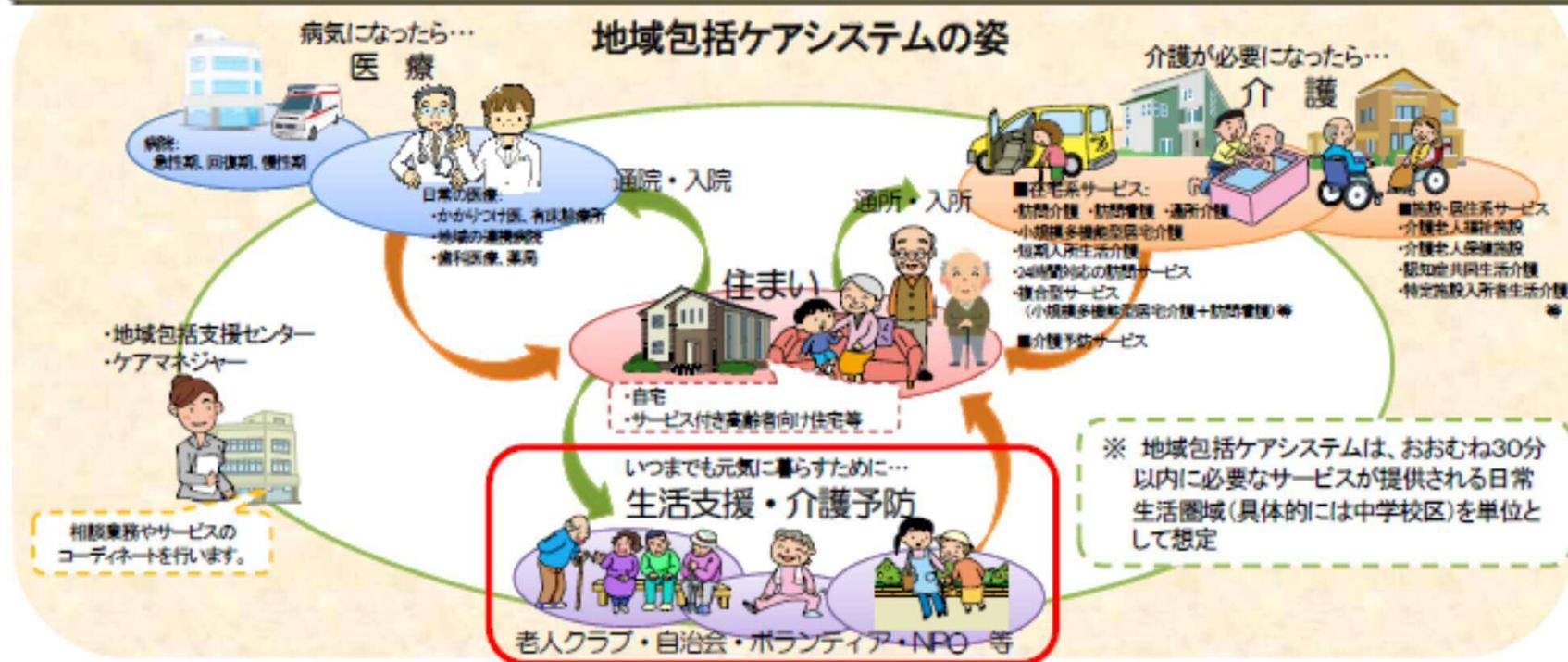
- (1) 徹底した「閉じこもり予防」から、「多様」で「適切」な「切れ目ない」介護予防施策の推進
- (2) 認知症施策の推進
- (3) 医療・介護連携を推進する体制の構築



2 富山市の施策の取組について

① 地域包括ケアシステムの構築について

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、高齢化の進展状況には大きな地域差。
- 地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。



② 富山市の高齢者福祉施策

■ 介 護

保険給付

◎居宅介護(介護予防)サービス
訪問、通所、短期入所など

◎施設サービス

特別養護老人ホーム
介護老人保健施設
介護医療院

◎地域密着型サービス

定期巡回・随時対応型訪問介護看護
小規模多機能型居宅介護
グループホームなど

◎福祉用具、住宅改修

◎ケアプラン・介護予防ケアプランの作成

介護サービスの基盤整備

施設サービス、地域密着型サービスの
計画的な整備

介護給付の適正化

ケアプランの点検、研修
事業者への指導など

② 富山市の高齢者福祉施策

■介護予防

壮年期からの健康づくり

生活習慣の改善
(プラス1,000歩富山市民運動、
8020運動の推進)

心の健康づくり

うつ病に関する講座
ゲートキーパー養成

生きがい対策づくり

老人クラブ活動の支援
シニアライフ講座、高齢者農園
高齢者いきがい工房

健康寿命の延伸

パワーリハビリテーション事業
角川介護予防センター
介護予防ケアマネジメント
介護予防教室
楽楽いきいき運動
介護予防推進リーダー
(水のみ運動、簡単チェックリスト、声かけ)

外出支援の促進(閉じこもり防止)

老人福祉センター・老人憩いの家
介護予防ふれあいサークル
いきいきクラブ
シニアライフ講座、高齢者農園
ふれあい入浴事業
おでかけ定期券、おでかけタクシー券
孫とおでかけ支援事業
高齢者移送サービス
生きがい対応型デイサービス事業

② 富山市の高齢者福祉施策

■生活支援

在宅福祉(ひとり暮らし、ねたきり高齢者対策)

緊急通報装置設置事業
福祉電話設置事業
高齢福祉推進員
移送サービス事業
外出支援タクシー
自立支援サービス事業
地域ぐるみの除雪活動の推進 など

認知症対策

見守りネットワーク
認知症サポーター
徘徊SOSネットワーク
認知症初期集中支援チーム

高齢者虐待

一次、二次相談
虐待防止ネットワーク

おむつ支給事業
寝具洗濯乾燥消毒事業
「食」の自立支援事業
除雪支援事業
軽度生活援助事業
お買い物バス事業(社会福祉協議会)

介護する家族への支援

ミドルステイ
介護手当
徘徊高齢者探索サービス

権利擁護

市民後見の推進
成年後見制度利用支援事業

就業促進

シルバー人材センター
スーパーシニア活躍促進人材バンク

② 富山市の高齢者福祉施策

■ 住まい

在宅の支援

ねたきり防止等住宅整備費
居宅介護住宅改修

公営住宅

生活援助員派遣事業
高齢者向け住宅改善
シルバーハウジング

サービス付高齢者向け住宅 ……46施設 1,261戸

養護老人ホーム ……2施設 200戸

軽費老人ホーム ……1施設 100戸

ケアハウス ……8施設 521戸

有料老人ホーム ……40施設 1,168戸

■ 医療との連携

多職種協働による連携

医師会 歯科医師会
薬剤師会 訪問看護ステーション
などとの連携

医療・介護ネットワーク

公的医療機関 居宅介護支援事業所
中部厚生センター 地域包括支援センター
富山市保健所
などとの連携

② 富山市の高齢者福祉施策

■ 地域包括支援センターの取組みについて

市内32か所(中核市で最多)に地域包括支援センターを設置し、様々な関係機関と連携をとりながら、高齢者の皆さん住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域のネットワークづくりに取り組んでいます。

■ 地域包括支援センターの業務内容と役割

包括的・継続的 マネジメント

在宅復帰支援
ケアマネジャー支援

主任ケアマネジャー

地域ケア体制の 推進

ネットワークづくり、生活ボランティアの育成、情報誌の作成、介護予防ふれあいサークルの支援

地域ケア推進コーディネーター

社会福祉士

チーム
アプローチ

総合相談・権利擁護

認知症や権利擁護・高齢者虐待・消費生活等の総合的な相談

介護予防 ケアマネジメント

- ・介護予防ケアプランの作成
- ・介護予防教室の開催

保健師・経験のある看護師

③ 富山市のまちづくりと介護予防

【富山市のまちづくりの基本方針 ⇒ コンパクトなまちづくり】

鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを実現

＜概念図＞

富山市が目指すお団子と串の都市構造

串 : 一定水準以上のサービスレベルの公共交通

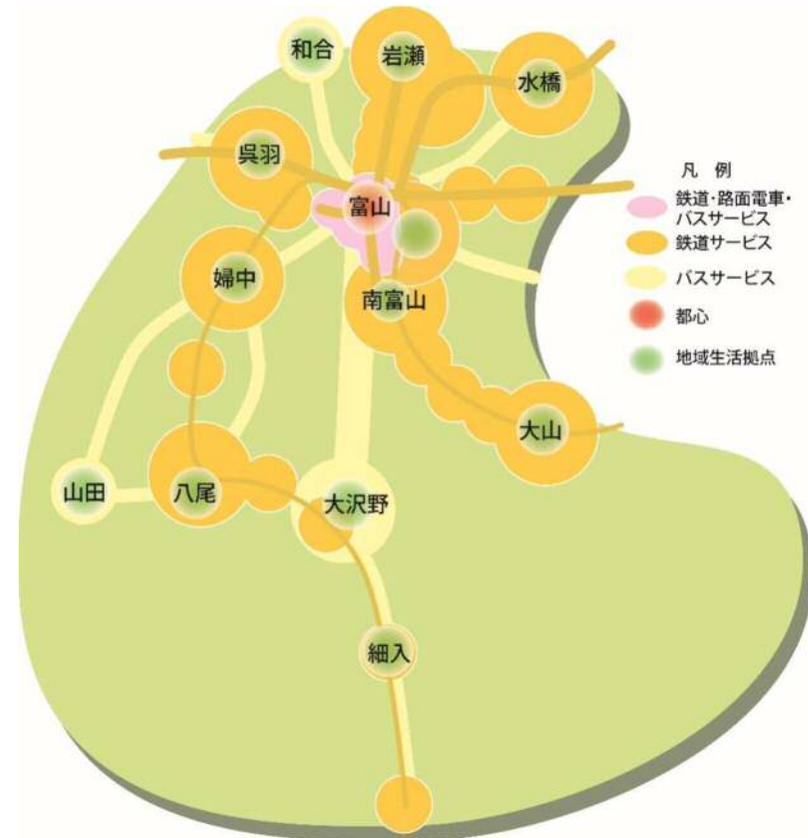
お団子 : 串で結ばれた徒歩圏

＜実現するための3本柱＞

①公共交通の活性化

②公共交通沿線地区への居住推進

③中心市街地の活性化



③ 富山市のまちづくりと介護予防

公有地を活用した介護予防の拠点施設 ～富山市角川介護予防センター～

小学校跡地を活用し、日本初の温泉水を活用した介護予防施設を整備（H23.7開業）

- 水中運動療法を中心に、陸上運動療法、温熱療法、パーソナルケアなどを組み合わせた介護予防プログラムを提供
- 整備には市民からの寄付金等を活用し、民間企業の指定管理者が管理運営を行う

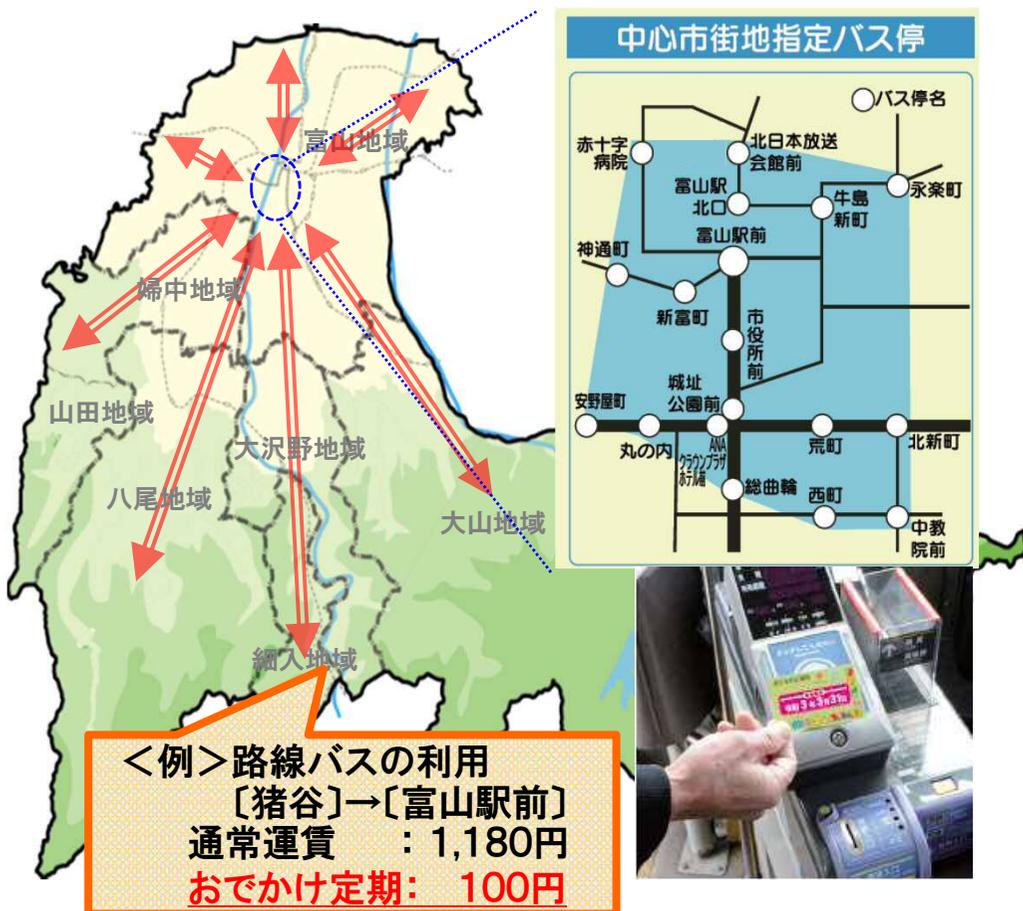


③ 富山市のまちづくりと介護予防

高齢者の外出機会の創出 ～おでかけ定期券事業～

交通事業者と連携し、富山市内在住の65歳以上の高齢者を対象に**市内各地から中心市街地へ出かける際に公共交通機関を1乗車100円**で利用できる制度を実施

高齢者の **約24%**がおでかけ定期券を所有し、**1日あたり2,758回**、**約1,400人**が利用
(令和元年度実績)



＜おでかけ定期券の申込み＞

65歳以上の方、利用者負担金1,000円

＜おでかけ定期券の利用＞

①利用時間帯: 午前9時～午後5時

②利用区間

〔路線バス〕(H16. 5～)

富山市内各地 ↔ 中心市街地等の区間
 中心市街地等 ↔ 中心市街地等の区間
 富山市内各地 ↔ 富山市民病院の区間

〔地鉄電車〕(H20. 4～)

富山市内各駅 ↔ 電鉄富山駅
 富山市内各駅 ↔ 南富山駅

〔路面電車〕(H23. 4～)

市内電車・富山港線・環状線

③ 富山市のまちづくりと介護予防

お出かけ定期券の利用と要介護認定率についての分析

要介護認定率が高まる後期高齢者に着目し、平成23年度に75歳以上であった高齢者の、平成30年度における要介護認定状況を、お出かけ定期券の利用年数の違いによって比較。

■ 要介護状態の変化

【お出かけ定期 継続利用8年の者】

	合計	H30								
		自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
H23	自立	3,432	2,481	278	275	236	108	28	19	7
	要支援1	80	7	20	25	20	7	1	0	0
	要支援2	44	5	5	15	6	10	1	1	1
	要介護1	10	1	0	1	4	1	2	0	1
	要介護2	5	2	0	0	1	1	0	1	0
	要介護3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全体	3,571	2,496	303	316	267	127	32	21	9	

【お出かけ定期 利用経験がない者】

	合計	H30								
		自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
H23	自立	12,522	6,685	503	627	1,214	1,319	1,020	711	443
	要支援1	473	35	45	57	84	100	75	53	24
	要支援2	719	33	11	79	107	185	146	114	44
	要介護1	924	47	3	8	81	205	267	178	135
	要介護2	877	48	1	9	27	150	267	235	140
	要介護3	541	32	0	0	6	26	139	163	175
	要介護4	310	26	0	0	4	6	36	86	152
	要介護5	178	28	0	0	1	1	5	34	109
全体	16,544	6,934	563	780	1,524	1,992	1,955	1,574	1,222	

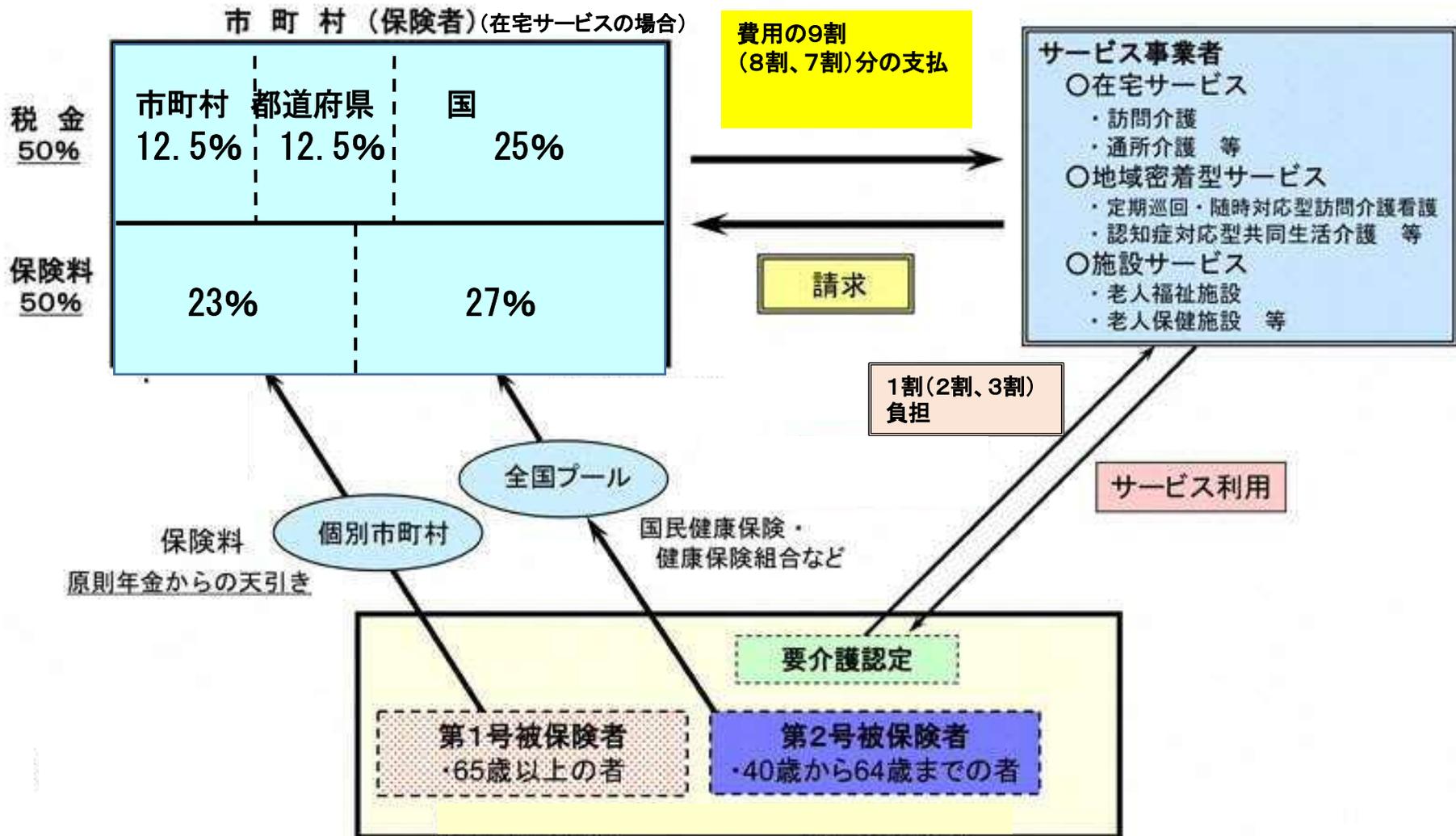
	利用年数8年の者	利用経験がない者
全体	3,571人	16,544人
介護状態を維持(赤色)	70.6% (2,521人)	44.6% (7,374人)
介護状態が悪化(青色)	28.8% (1,028人)	52.8% (8,743人)
介護状態が改善※(無色)	0.6% (22人)	2.6% (427人)

「自立」の中には入院等の事情により介護認定を受けなくなった者を含む

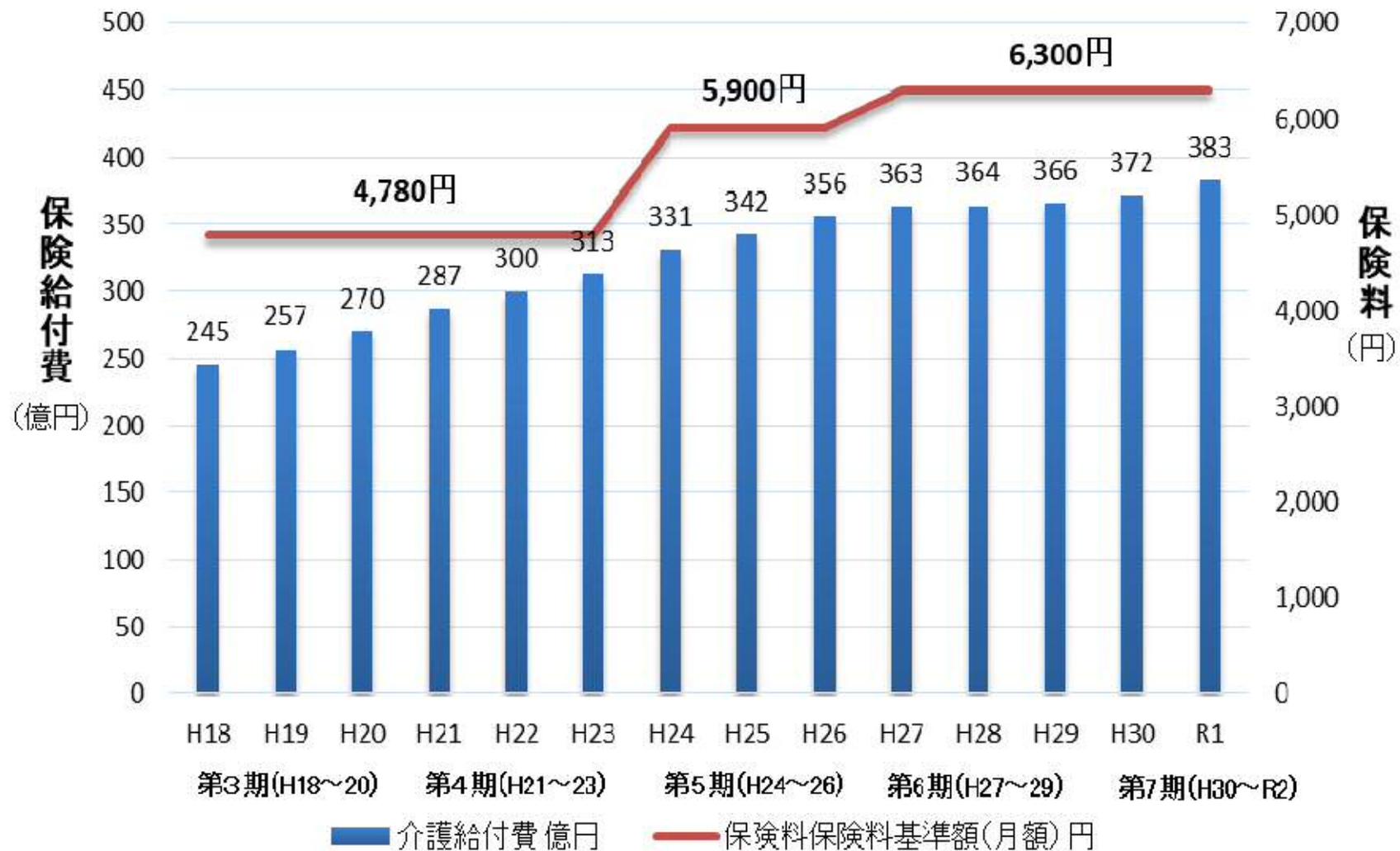
★お出かけ定期券を継続して利用している高齢者は、全く利用していなかった高齢者に比べ、**介護状態を維持**している。

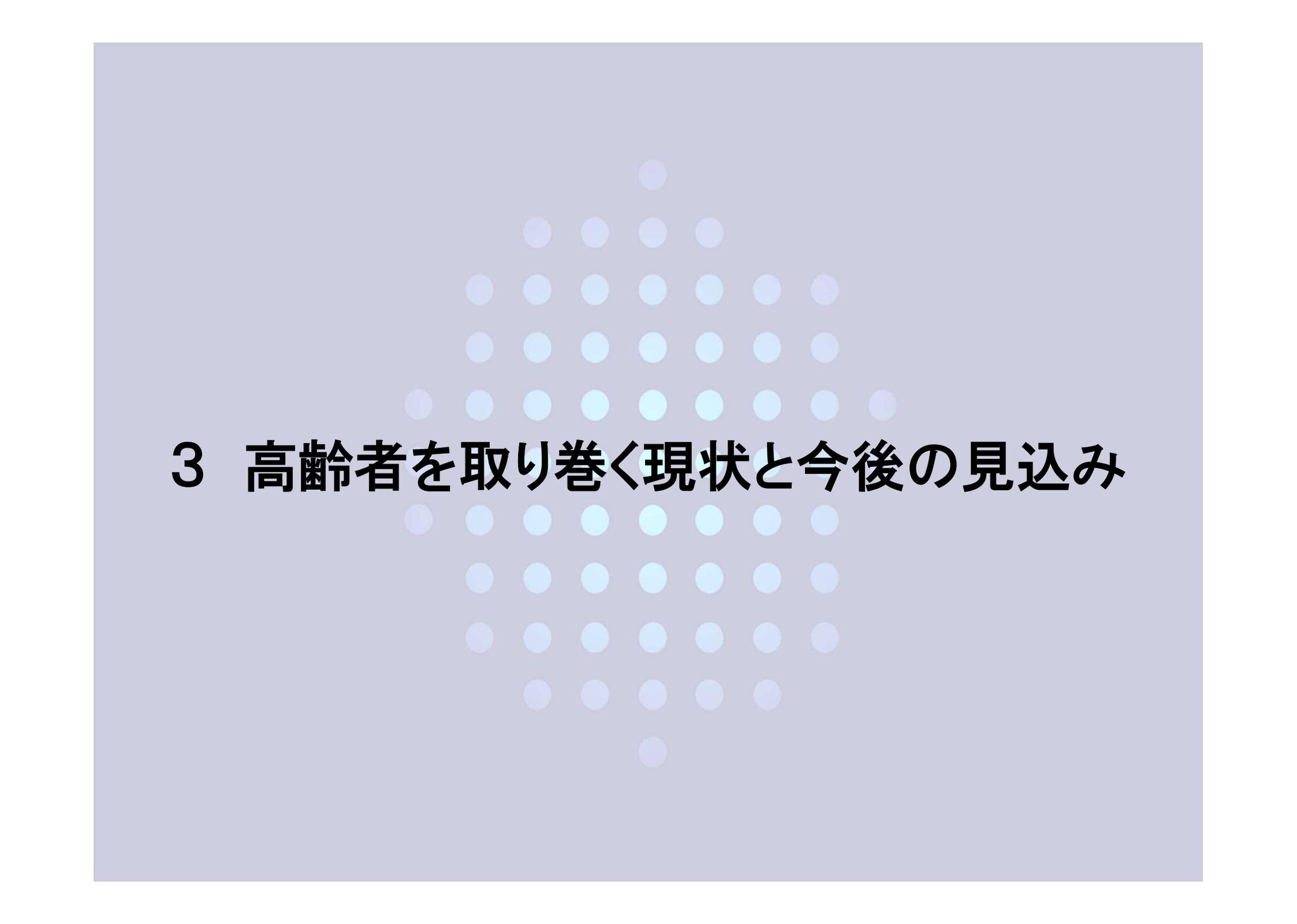
④ 介護保険制度の仕組み

介護保険制度の仕組み



⑤ 保険給付費と保険料の推移

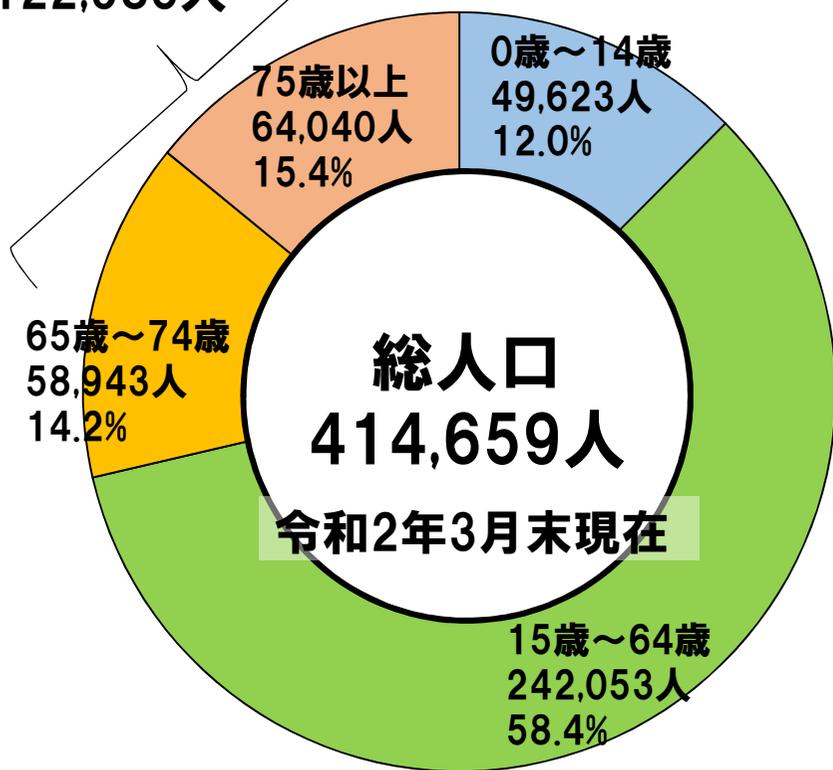




3 高齢者を取り巻く現状と今後の見込み

① 富山市の人口と高齢化の状況

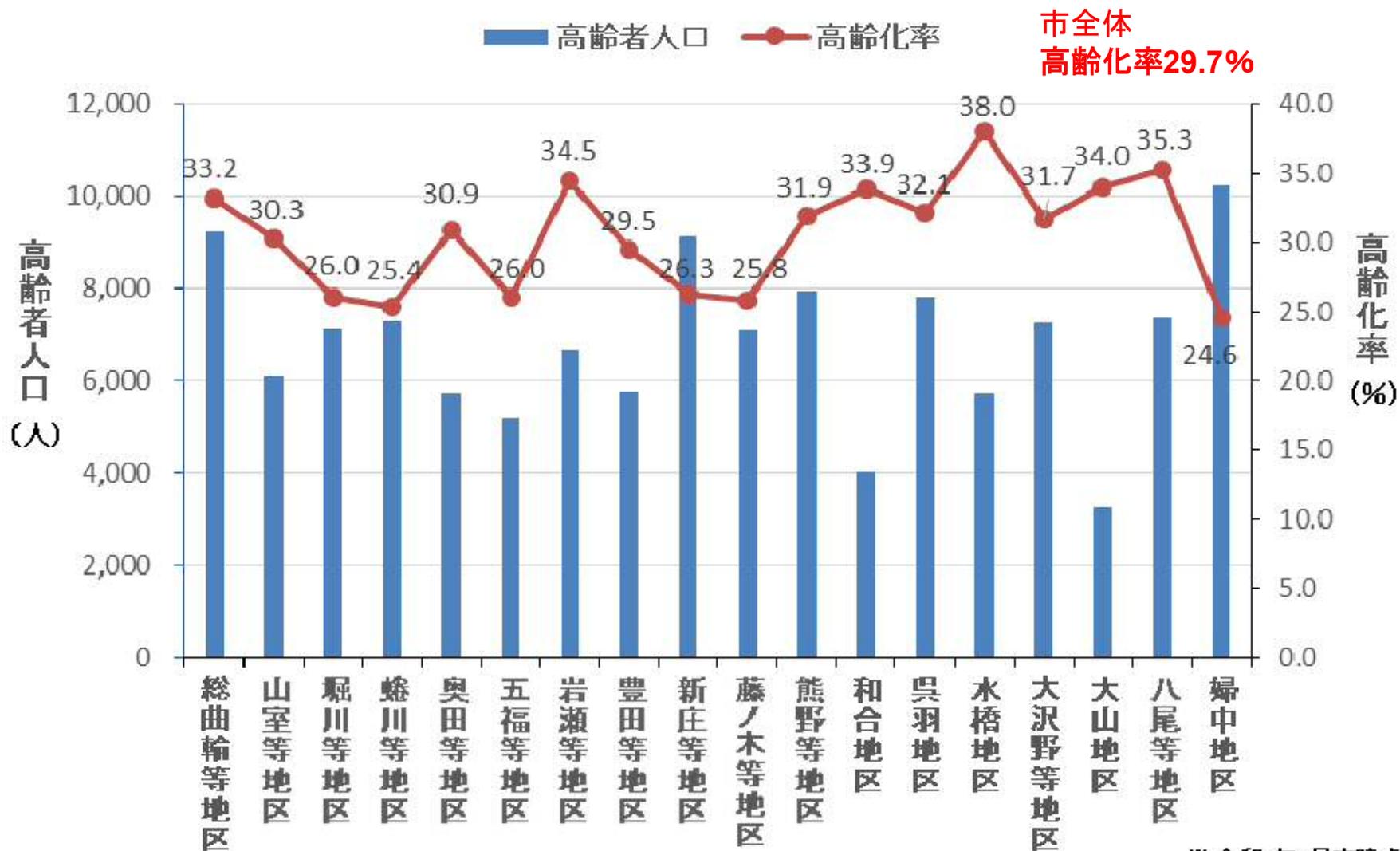
高齢者人口
122,983人



		R2. 3. 31現在	比率
全人口	A	414,659人	
全世帯数	B	180,388世帯	
高齢者数	C	122,983人	29.7% (C/A)
65歳～74歳	D	58,943人	14.2% (D/A)
75歳～	E	64,040人	15.4% (E/A)
要介護認定者数 (第1号被保険者)	F	23,904人	19.4% (F/C)
認知症高齢者数	G	12,409人	10.1% (G/C)
			51.9% (G/F)

② 日常生活圏域の高齢化の状況

総曲輪等、岩瀬等、和合、呉羽、水橋、大山、八尾等地区で高齢化率が32%を超えている。

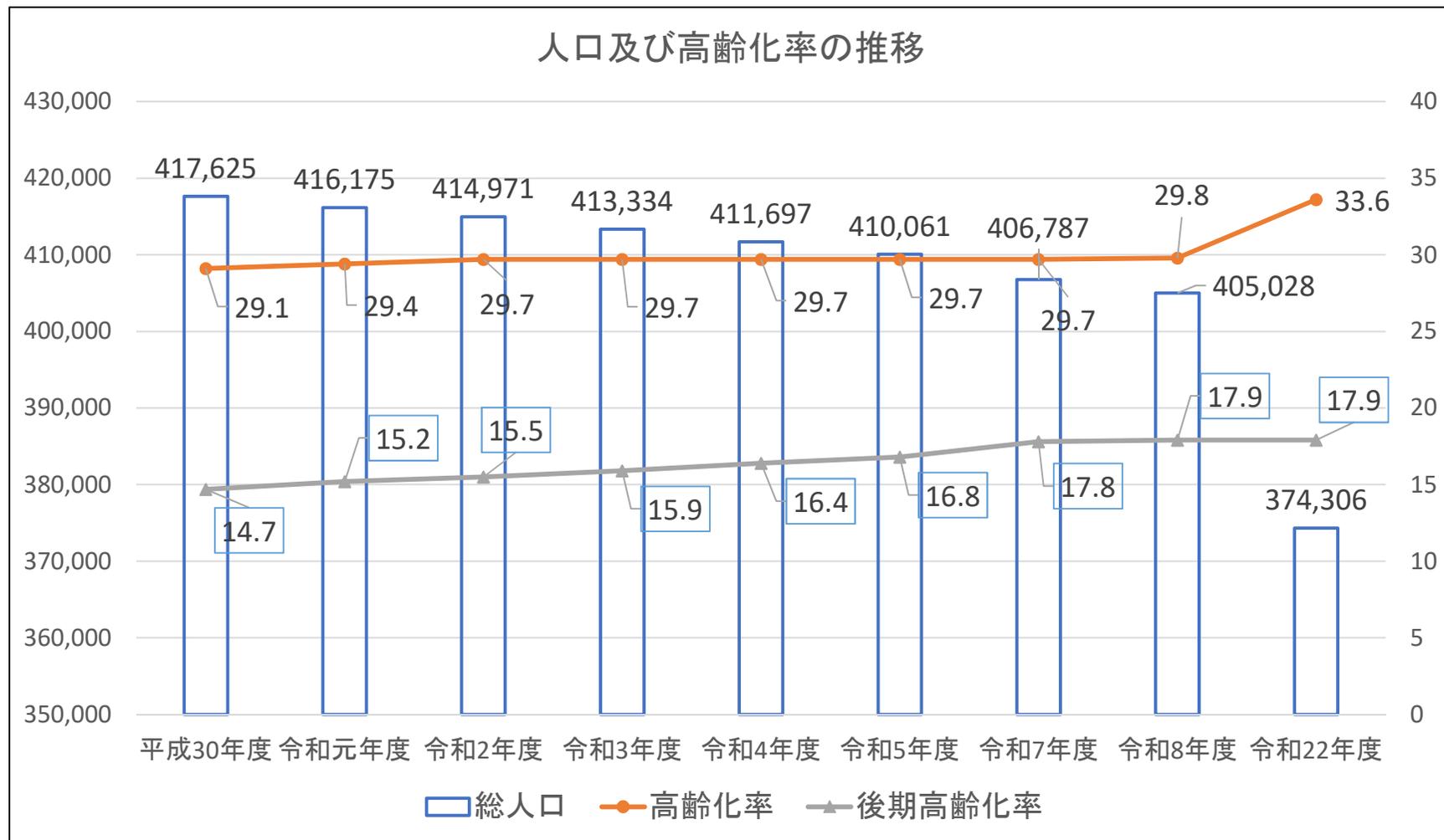


※ 令和2年3月末時点

③ 富山市の将来推計について（人口と高齢者数、高齢化率）

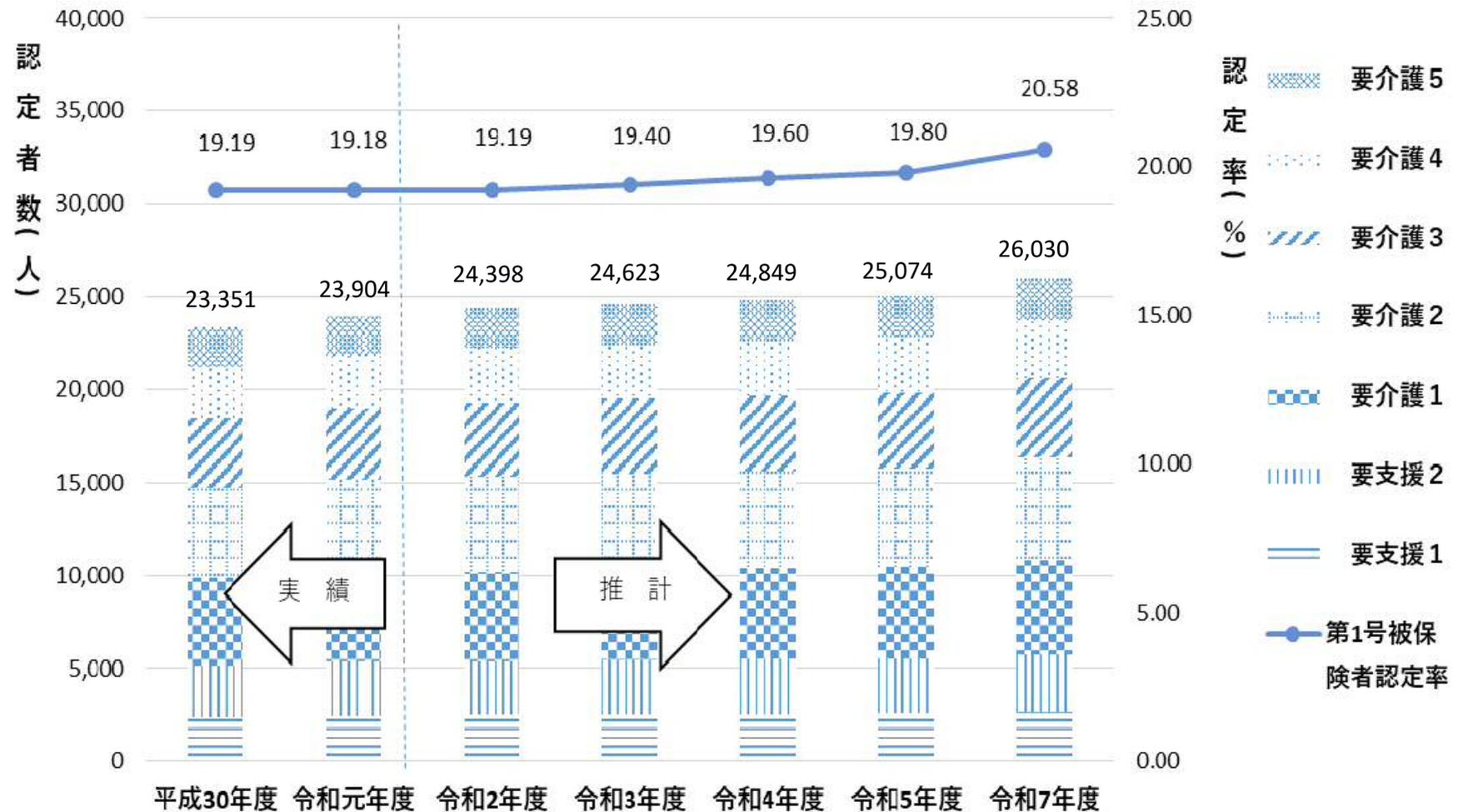
■富山市の総人口は、令和5年度には41万人まで減少する見込み

■65歳以上の高齢者人口は令和5年度には12万2千人、高齢化率29.7%と予測され、後期高齢化率は16.8%まで上昇する見込み



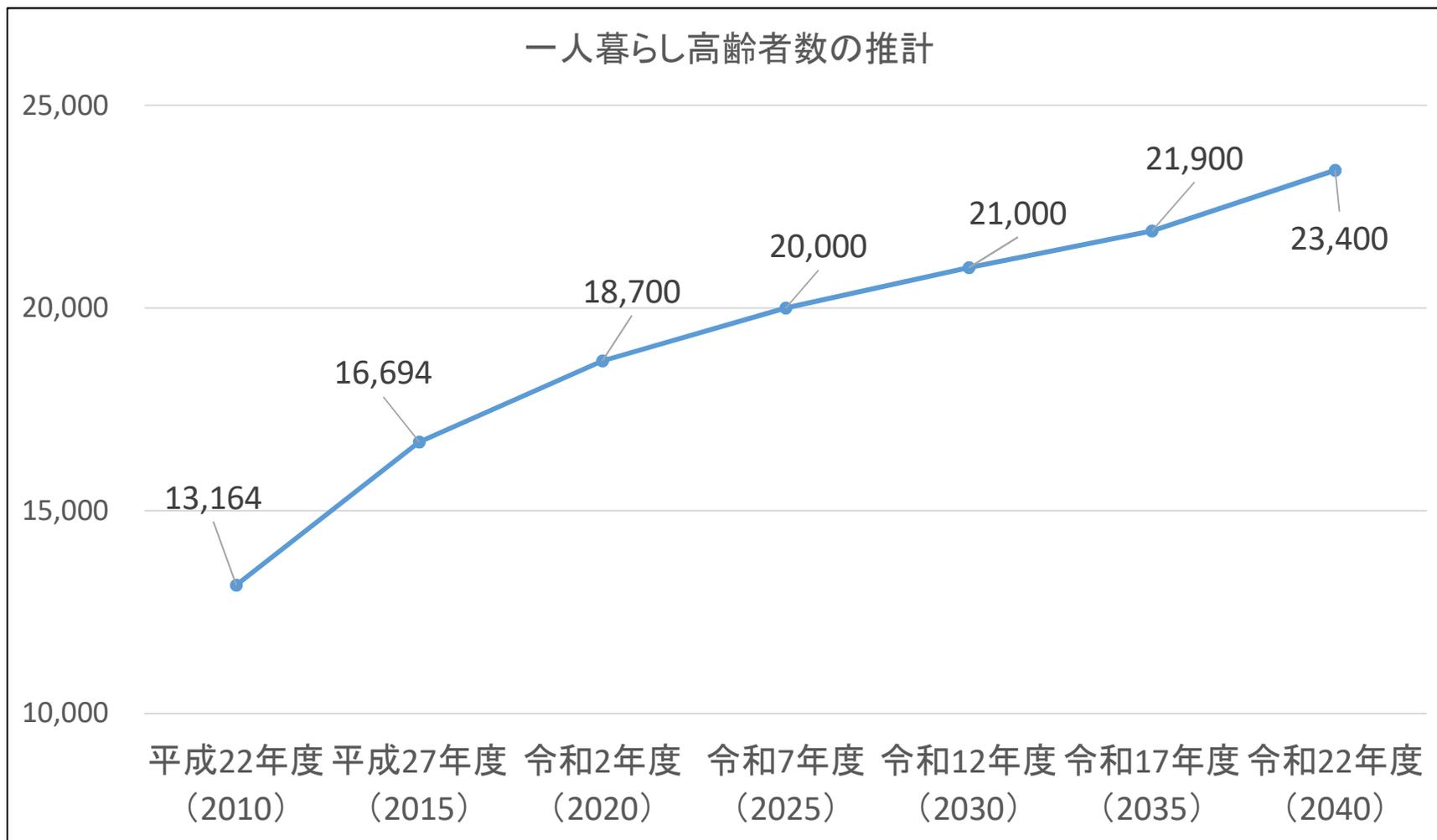
③ 富山市の将来推計について（要介護認定者数）

◆ 認定者数は、毎年増え続けるが微増となる見込み



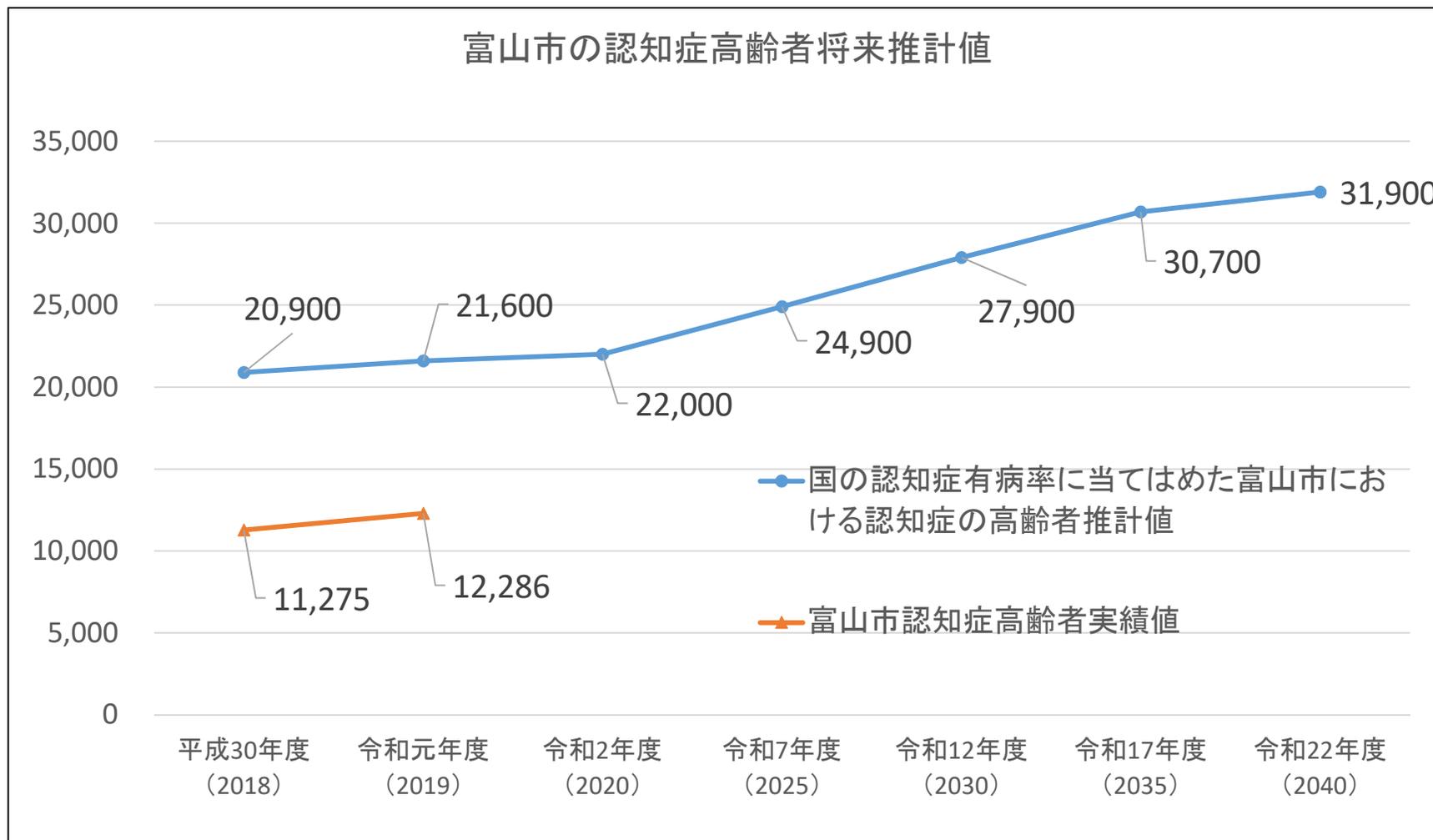
③ 富山市の将来推計について（ひとり暮らし高齢者）

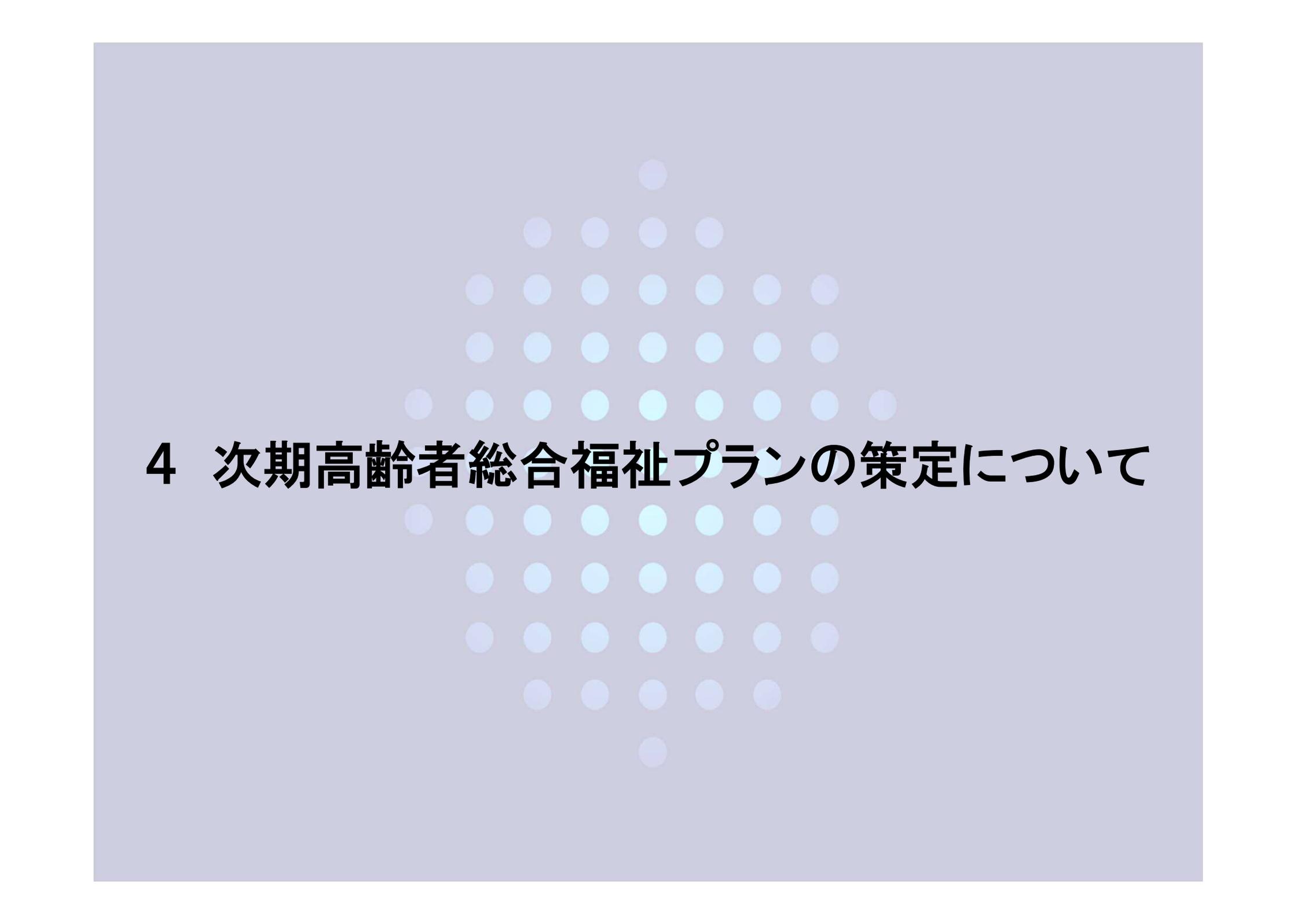
核家族化など、家族構成の変化により、ひとり暮らし高齢者（65歳以上）は、令和7年度（2025年）に2万人と大幅に増加する見込み



③ 富山市の将来推計について（認知症高齢者）

■国の推計によると、認知症の人の数は令和7年には730万人まで増加し、5人に1人が認知症になる見込み。本市の認知症高齢者数は、令和7年には24,900人になると推計。

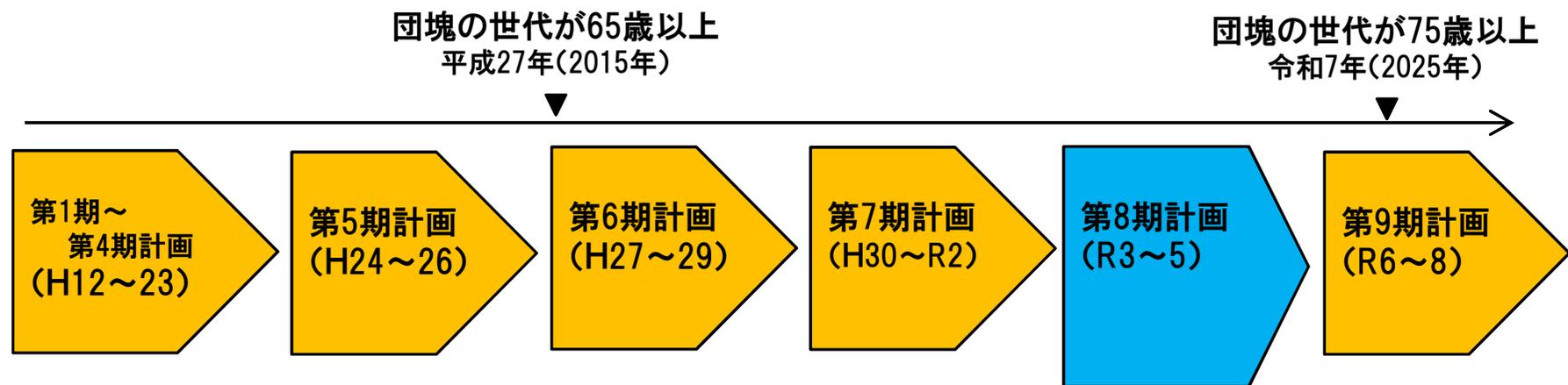




4 次期高齢者総合福祉プランの策定について

① 高齢者総合福祉プランの計画期間

第8期となる次期計画では、現行計画の進捗状況を検証・分析するとともに、団塊世代が75歳以上になる令和7年(2025年)を目指した地域包括ケアシステムの整備、更に現役世代が急減する令和22年(2040年)の双方を念頭に、高齢者人口や介護サービスのニーズを中長期的に見据えた見直しを行います。



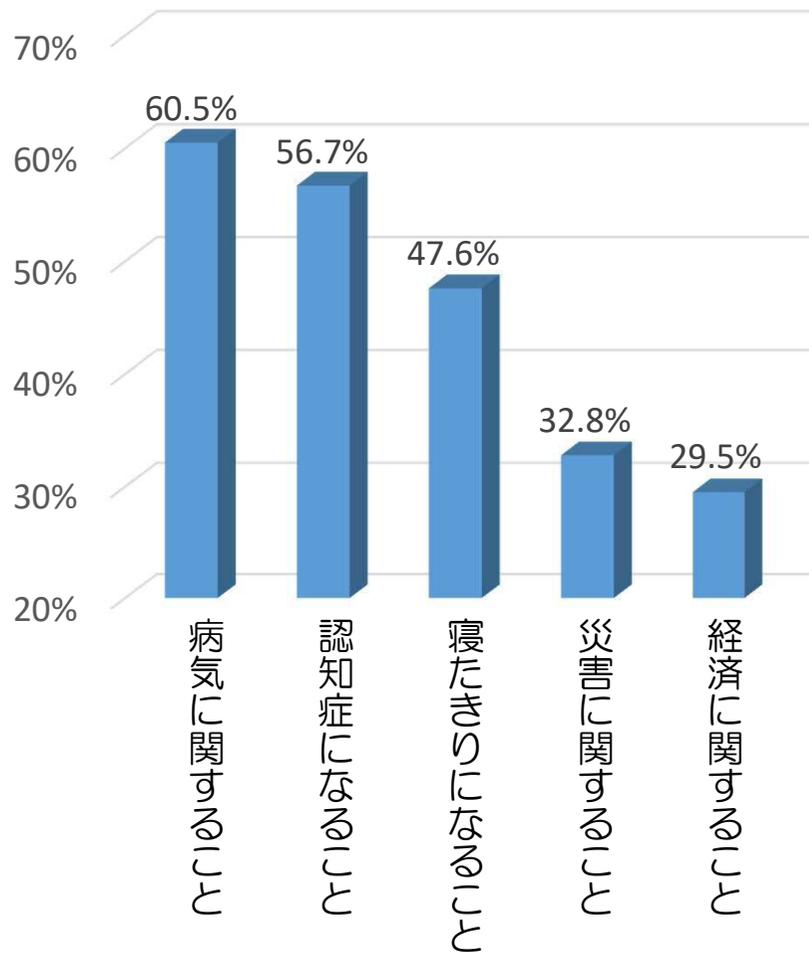
② 富山市高齢者保健福祉実態調査

1. 調査の概要

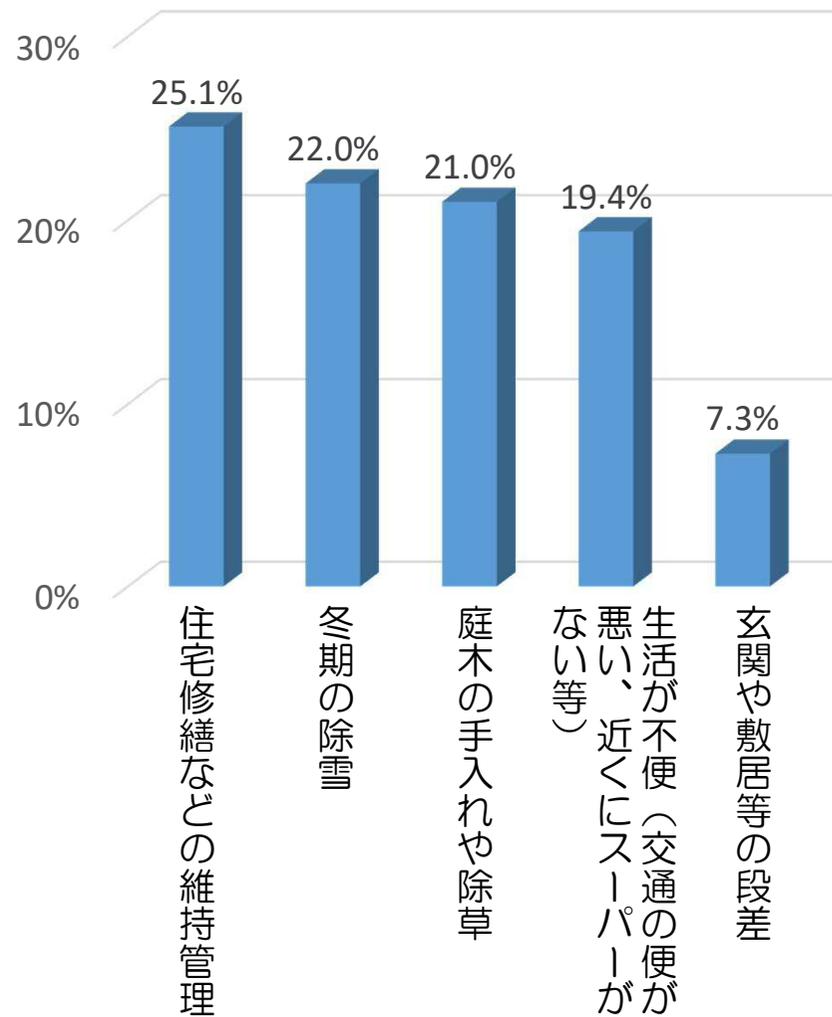
- (1) 調査の内容：高齢者を取り巻く生活環境や保健福祉等に対する意見
- (2) 調査地域：富山市全域
- (3) 調査対象：令和元年12月1日現在、65歳以上の方
(要介護認定者を除く)
- (4) 調査対象者数(標本数)：3,600標本(無作為抽出)200人×18圏域
- (5) 調査方法：郵送による配布と回収
- (6) 調査期間：令和2年2月15日～2月21日
- (7) 有効回答数：2,626標本(72.9%) ※前回調査(H29) 67.9%

② 調査結果（生活状況について）

■生活の中で不安に思うこと
（複数回答可、上位5項目）

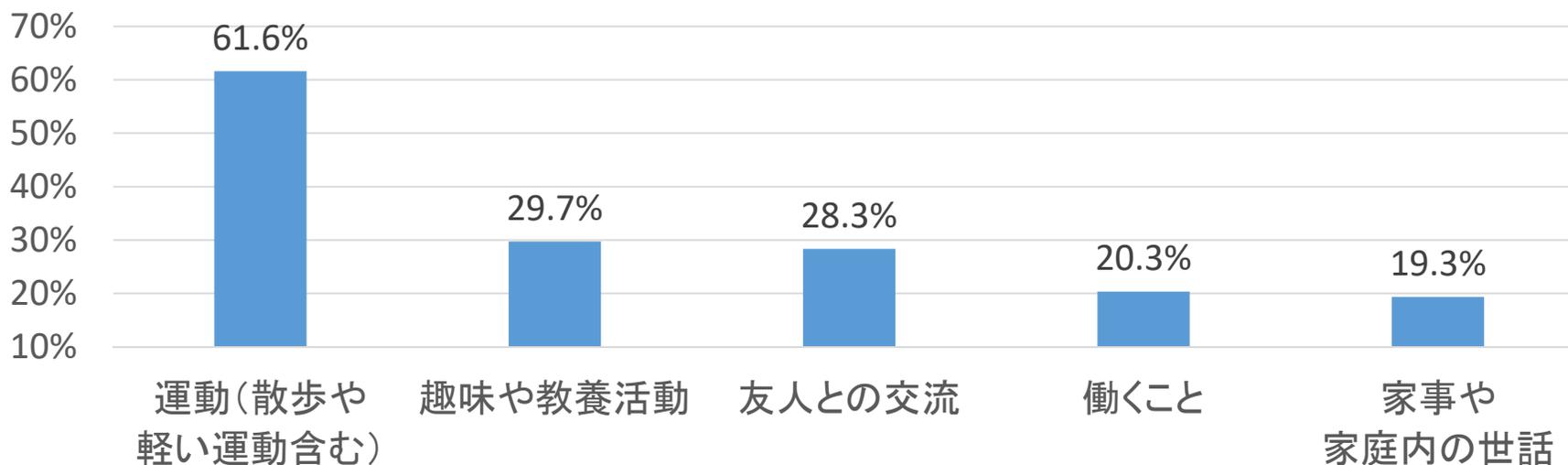


■現在の住まいで困っていること
（複数回答可、上位5項目）

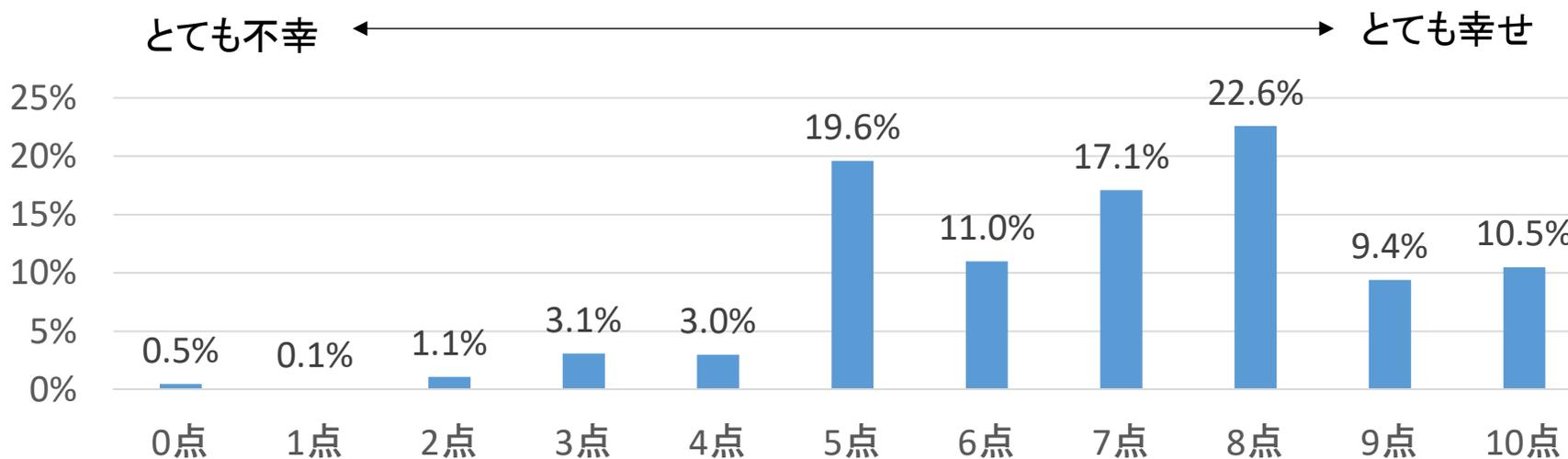


② 調査結果（健康づくりや生きがいづくりについて）

■健康づくりや介護予防のために今後やってみたいこと（複数回答可、上位5項目）



■現在の幸福度

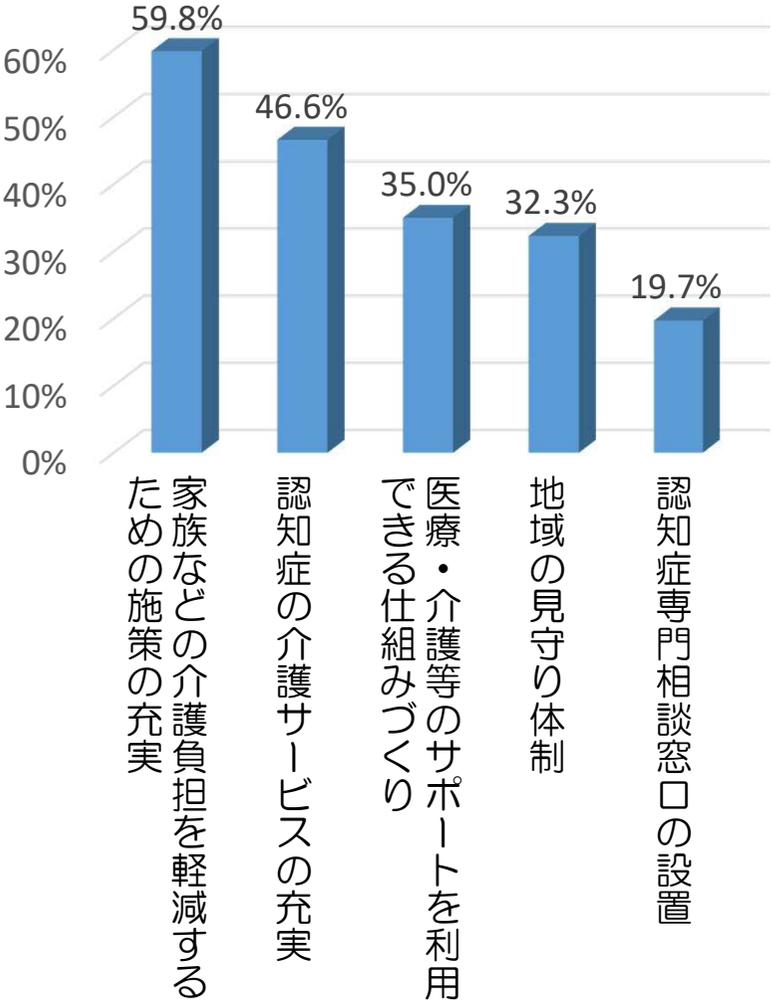


② 調査結果（介護保険制度の充実について）

■介護を受けながらの生活に対する希望（複数回答可）

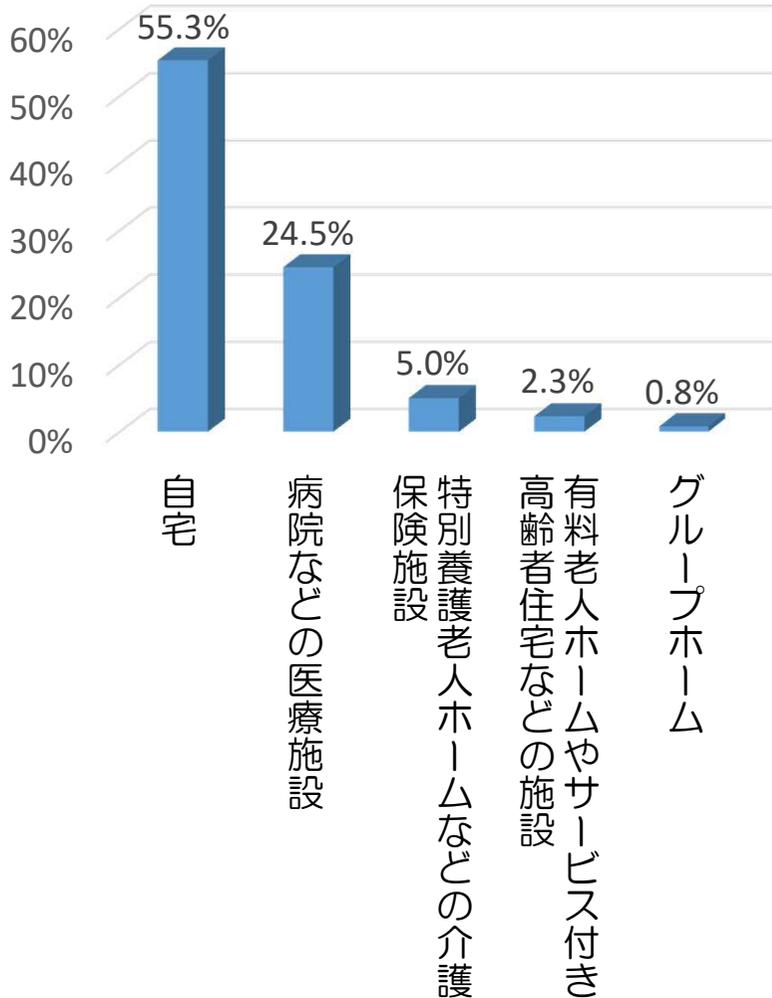


■認知症の人が地域で暮らしていくために必要な支援（複数回答可、上位5項目）

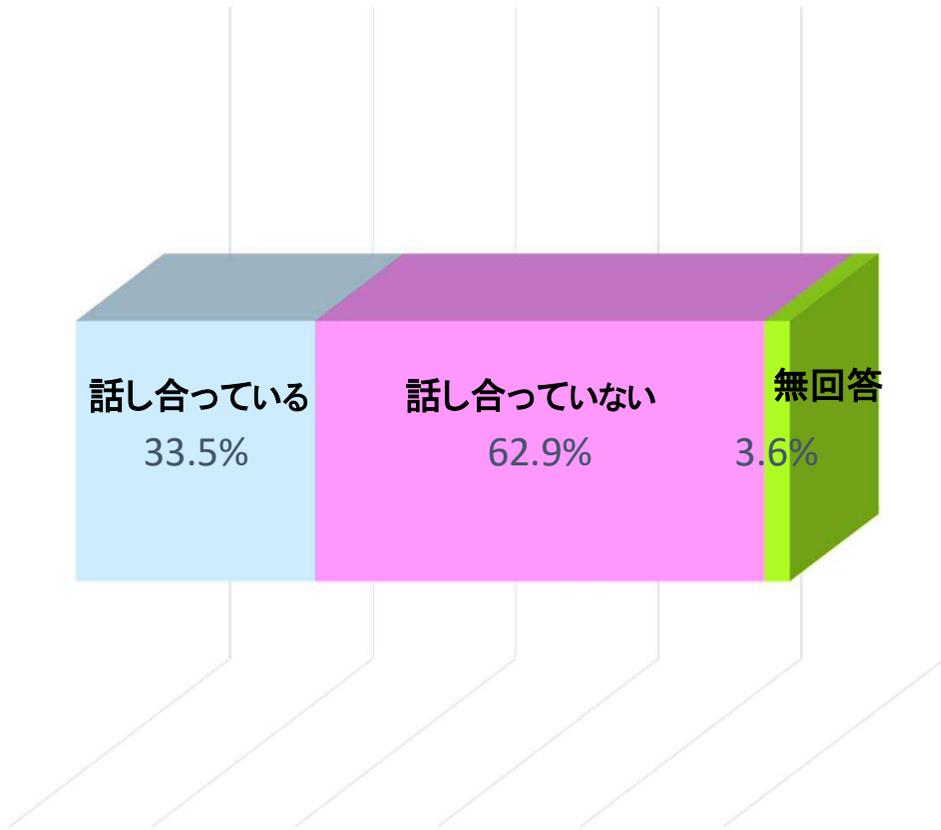


② 調査結果（医療について）

■希望する最期を迎える場所（複数回答可、上位5項目）



■人生の最終段階における医療やケアについて、家族等まわりの信頼する人たちと話し合っているか。



③ 在宅介護実態調査

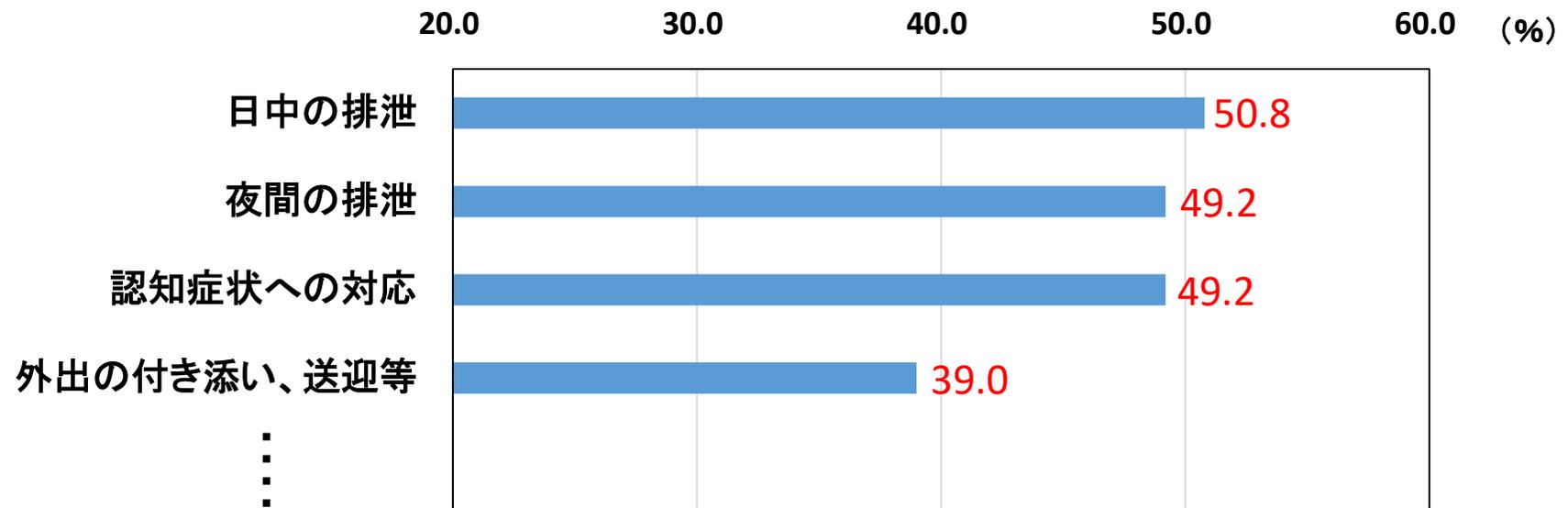
1. 調査の概要

- (1) 調査の目的 : 高齢者等の在宅生活の継続と介護者の就労継続に効果的なサービスを把握すること。
- (2) 調査対象 : 在宅生活の要支援・要介護者のうち、更新申請等に伴う認定調査を受ける方とその介護者
- (3) 対象者数 : 1, 037人
- (4) 調査方法 : 認定調査員による聞き取りにより実施
- (5) 調査期間 : 令和2年2月1日～29日の1か月間
- (6) 有効回答数 : 419人(40. 4%)

③ 在宅介護実態調査

2. 調査結果に基づく分析と課題

【要介護度別・介護者が不安に感じる介護】（上位項目）

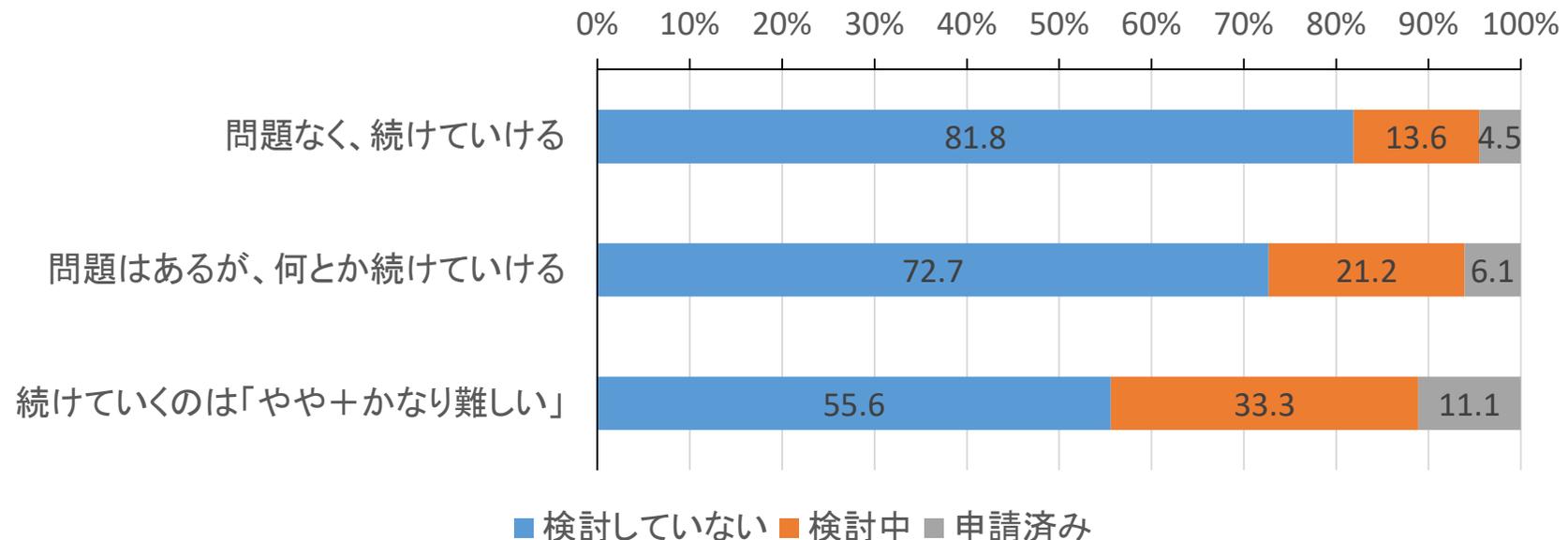


→ 在宅限界点を向上させるためには、「排泄」、「認知症状への対応」、「外出支援」に係る不安をいかに軽減していくかに焦点を当てる必要がある。

③ 在宅介護実態調査

【就労継続見込み別・施設等検討の状況】

(要介護2以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務)



→ 就労継続が困難となっている介護者に対し、要介護者の状態や家庭の状況にあった適切なサービスを利用できるように、介護者に寄り添った、サービスの把握や相談できる体制づくりが重要である。

④ 国の動向について

第8期計画において記載を充実する事項(案)

【令和2年7月27日開催 社会保障審議会介護保険部会】

- ①2025・2040年を見据えたサービス基盤、人的基盤の整備
- ②地域共生社会の実現
- ③介護予防・健康づくり施策の充実・推進(地域支援事業等の効果的な実施)
- ④有料老人ホームとサービス付き高齢者住宅に係る都道府県・市町村間の情報連携の強化
- ⑤認知症施策推進大綱等を踏まえた認知症施策の推進
- ⑥地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び業務効率化の取組の強化
- ⑦災害や感染症対策に係る体制整備

⑤ 介護保険料の状況

第7期介護保険料基準額 月額6,300円

	第4期 (H21~H23)	第5期 (H24~H26)	第6期 (H27~H29)	第7期 (H30~R2)
富山市	4,780円	5,900円	6,300円	6,300円
富山県平均 (加重平均)	4,574円	5,513円	5,975円	6,028円
県内最高	魚津市 4,800円	魚津市 5,980円	富山市 <u>6,300円</u>	富山市 <u>6,300円</u>
全国平均	4,160円	4,972円	5,514円	5,869円

⑥ 第8期介護保険料をとりまく状況

1. 保険料の増(上昇↑)要因

- ① サービス充実・利用者増に伴う給付費の増 など

2. 保険料の減(抑制↓)要因

- ① 介護給付費準備基金の活用:約26億3,000万円 など

3. 制度改正の影響

- ① 介護報酬の改定(国において検討中)
- ② 高額介護(予防)サービス費の見直し(医療保険の高額療養費制度における自己負担限度額にあわせる) など

⑦ 介護サービスの基盤整備状況（地域密着型サービス）

地域密着型サービス等の整備状況（対計画値）

地域密着型サービス等	第6期	第7期		
	第6期末 (H30.3)①	計画数 ②	選定数 ③	第7期末 (R3.3見込) (①+③)
定期巡回・随時対応型訪問介護 看護	5か所	<u>4か所</u>	<u>2か所</u>	<u>7か所</u>
夜間対応型訪問介護	3か所	—	—	3か所
小規模多機能型居宅介護	27か所	3か所	3か所	※1 31か所
認知症対応型共同生活介護	43か所	4か所 (72床)	5か所 (69床)	※2 48か所
地域密着型介護老人福祉施設	15か所	—	—	※3 15か所
看護小規模多機能型居宅介護	4か所	<u>5か所</u>	<u>1か所</u>	<u>5か所</u>
特定施設入居者生活介護	137床	<u>150床程度</u>	<u>60床</u>	※4 <u>206床</u>

●整備事業者の公募・選定は、平成30年度及び令和元年度に実施

※1 第7期期間に第6期選定事業者が整備したことに伴い増 ※2 第7期期間に第6期選定事業者が整備した分を含む

※3 第7期期間に第6期選定事業者が整備した分及び広域化による減を含む ※4 第6期選定事業者整備予定分を含む

⑦ 介護サービスの基盤整備状況

介護3施設等の整備状況（中核市比較）

（人口10万人当たり）

	介護老人 福祉施設	介護老人 保健施設	介護療養型 医療施設	3施設 合計	地域密着型 介護老人 福祉施設
1位	福井市 (561床)	呉市 (561床)	高知市 (332床)	呉市 (1,139床)	下関市 (174床)
2位	鳥取市 (545床)	鳥取市 (436床)	富山市 (218床)	鳥取市 (1,081床)	久留米市 (147床)
3位	横須賀市 (543床)	富山市 (427床)	下関市 (154床)	富山市 (1,049床)	長野市 (137床)
4位	松江市 (527床)	秋田市 (422床)	八王子市 (125床)	函館市 (1,031床)	金沢市 (120床)
5位	函館市 (522床)	函館市 (419床)	旭川市 (119床)	福井市 (968床)	高崎市 (86床)
	20位 富山市 (404床)				11位 富山市 (81床)
中核市 平均	370床	269床	49床	688床	51床

※3施設（時点）平成30年(2018年)

（出典）介護サービス情報公表システム及び総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

※地域密着（時点）平成29年10.1現在

（出典）平成29年介護サービス施設・事業所調査

⑧ 高齢者総合福祉プランの策定スケジュール

計画の策定に当たっては、市民の皆様からのご意見を伺う機会を最大限に設けます

	R2 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3 1月	2月	3月
策定 委員会						第1回				第2回		第3回	計画の策定及び県への報告、公表 介護保険料改定等の条例改正案議会提出	
策定 懇話会						第1回				第2回		第3回		
調査等	実態調査 保健福祉	在宅介護 実態調査					地域懇談会	事業所への アンケート			パブリック コメント			